

● ● ● 臨床心理研究指導分野 教員紹介

臨床現場での経験豊富な教員が、きめ細やかに指導します。



教授 渡辺 雄三

臨床心理士
東海開業臨床心理士協会元会長
関西大学博士(社会学)

精神科病院と開業心理療法オフィスという2つの臨床現場での長年にわたる心理療法の実践から、「クライアントをいかに理解し、手助けするか」という心理療法の恒久的で根源的な問いに対する答えを追究し、研究としてまとめている。

【主要著書】

1. 私説・臨床心理学の方法 金剛出版 2011(単著)
2. 臨床心理士の仕事の方法 金剛出版 2015(単著)
3. 自己実現と心理療法 創元社 2015(単著)
4. 夢が語るこころの深み 岩波書店 2006(単著)

message

これは、臨床心理士養成大学院としての人間環境大学大学院の教育理念でもありますが、何よりもまず、臨床現場で出会う一人一人のクライアントの「こころ・からだ」に添った誠実な手助けができる臨床心理士に育っていただきたいと願います。そして、そのための教育、指導に人間環境大学大学院の全教員は全力を挙げて努める所存です。また、クライアントの手助けが誠実にできる臨床心理士になるためには、臨床心理学の理論や方法をきちんと学ばなくてははいけませんし、本もなるべくたくさんしっかり読んでください。クライアントの「こころ・からだ」を深く理解するためには、臨床心理学や精神医学の専門書だけでなく、広く小説や映画などにも関心を持ってください。例えば村上春樹の小説などは、現代に生きるクライアント、そして人間の「こころ・からだ」の深みを理解するための格好の教科書のように思います。



教授 伊藤 義美

臨床心理士
国際フォーカシング研究所(米国)認定フォーカシング・コーディネーター
日本人間性心理学会理事長
名古屋大学博士(教育心理学)
名古屋大学名誉教授

パーソンセンタード・アプローチ(PCA)、特にパーソンセンタード・セラピー、フォーカシング指向心理療法及びエンカウンターグループに関する実践と研究及び教育訓練に取り組んできている。

【主要論文・著書】

1. フォーカシングの空間づくりに関する研究 風間書房 2000(単著)
2. パーソンセンタード・アプローチの挑戦—現代を生きるエンカウンターグループの実際— 創元社 2011(共著)
3. Experiential manner as a mediating factor between clearing a space and self-efficacy. Person-Centered & Experiential Psychotherapies, 10(2), 106-115. 2011(共著)

message

臨床心理士=「心の専門家」への道は、自分自身に至る探求の道！それは生涯続くことになる自己探求の道程です。「心の専門家」としてのリテラシーの習得はもちろん必須事項ですが、これと一朝一夕に身につくものではありません。実際に生きた個と直に出会い、かかわることは、サイコセラピーやカウンセリング以上のものです。二人のプレゼンスは互いに影響を与え合い、ともに一人の人間としての成長発達と不可分です。私たちは内なる声なき声に耳を傾けるようになり、変えることができるものはそれを変える勇気、変えることができないものはそれを受け入れる心の平静さを、そしてこれらを見極めることができる英知を体得していくことになるでしょう。



准教授 高橋 蔵人

臨床心理士
愛知教育大学大学院教育学研究科修士課程修了

精神科医療領域を中心に養護施設や産業領域でも心理臨床経験を積み重ねてきた。専門は心理療法、カウンセリング学。よりよい心理的援助のあり方を研究している。

【主要論文・著書】

1. 失敗をのりこえること—重度の摂食障害に陥った女性が獲得した自己肯定感から 心理臨床学研究, 28(6), 751-762. 2011(単著)
2. こころの「病」と心理療法 渡辺雄三・山田勝・高橋蔵人・石黒直生(編) クライアントと臨床心理士 金剛出版 pp.66-87. 2016(単著)



准教授 三後 美紀

臨床心理士
名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得満期退学

職場のメンタルヘルスと人間関係に関する研究や、青年期における進路選択に関する研究に取り組んできた。近年は児童福祉施設職員のキャリア発達について関心を持っている。

【主要論文・著書】

1. 高校生の進路選択過程の心理学的メカニズム—自己決定経験とキャリア・モデルの役割— キャリア形成・就職メカニズムの国際比較 寺田盛紀編著(第2章)pp.25-37. 2004(共著)
2. 児童福祉施設における子どもの性的問題に関する職員の意識 心理臨床学研究, 33(5), 519-524. 2015(共著)



講師 **田中 史子**

臨床心理士、京都大学博士(教育学)
京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了

ストーリーになりきらない語りや、箱庭や描画などにあらわれるイメージを研究のテーマとしている。また、言語的・非言語的な心理的援助の有効性の研究も行っている。

【主要論文・著書】

1. 物語(tale)の臨床心理学 “お話”にならないお話がもつ治療的意味 創元社 2016(単著)
2. 糖尿病患者が生きていることの心理学的理解の試み 箱庭・描画に表現された“物語”を通して 箱庭療法学研究, 24(1), 83-97. 2011(単著)



講師 **鈴木 美樹江**

臨床心理士、金城学院大学博士(学術)
金城学院大学大学院人間生活学研究科博士後期課程修了

学校場面におけるメンタルヘルス研究および思春期・青年期における心の発達に関する研究を行ってきた。現在も学校臨床における実践的研究を積み重ねている。

【主要論文・著書】

1. 不適応に至るまでのプロセスに着目した高校生版学校不適応感尺度開発 心理臨床学研究, 32(6), 711-715. 2015(共著)
2. Expressed area of synthetic HTP test and school maladjustment in Japanese early adolescents Asia Pacific Journal of Counselling and Psychotherapy 7, 3-14. 2016(共著)



講師 **吉武 久美**

名古屋大学博士(心理学)
名古屋大学大学院教育発達科学研究科後期課程修了

行動や判断への社会的評価や個人特性などが、社会的行動の合意性推定に及ぼす影響について研究している。また、災害に備えた心理教育について共同研究を行っている。

【主要論文・著書】

1. 今日からはじめる心の減災 窪田由紀・松本真理子・森田美弥子編 第5章(3), 第7章(3). 2016(分担執筆)
2. 社会的迷惑行為と向社会的行動における合意性推定 応用心理学研究, 37, 1-10. 2011(共著)



講師 **坂本 真也**

臨床心理士
人間環境大学大学院人間環境学研究科修了
愛知学院大学大学院心身科学研究科博士後期課程単位取得満期退学

学校現場において、子どもをより効果的に援助していくため、SC・教員・保護者の連携・協働のあり方および必要性、さらに地域を含めた心理臨床的援助についても研究を進めている。

【主要論文・著書】

1. 里親家庭の男児への遊戯療法 遊戯療法学研究, 13(1), 40-49. 2014(単著)
2. スクールカウンセリングと地域との連携—学校と地域をつなぐ心理臨床的援助システムの模索 地域活性化研究, 15, 31-39. 2016(単著)